

令和8年7月10日（金）
内子分庁3階大会議室

内子町部活動地域移行推進連絡協議会（第2回）会議録

内子町教育委員会

挨拶 副委員長

皆さん、改めましてこんばんは。本日お忙しい中、内子町部活動地域移行推進連絡協議会にご参加いただきまして大変ありがとうございます。また、今回2回目ですが部活動地域展開愛媛県統括コーディネーターをはじめ、7名の方に会議にお越しいただき、会議の指導や私たちのアドバイスをいただきたいと思います。よろしくお願いします。

いよいよこの7月ぐらいから具体的に休日の地域展開に向けて動きが始まります。その具体的なところを事務局の方で準備してもらっているみたいですので、忌憚のないご意見いただき、できるだけスムーズな休日の地域展開を実施していきたいというふうに思っております。具体的に動くとなると、たくさんの疑問がでてくると思いますので、皆さんのアドバイスいただき、しっかりしたものにできたらと考えております。本日そういう意味で重要な会になるかと思っております。よろしくお願いいたします。

◆協議1 前回の確認（会議録）

事務局 協議1では、部活動地域展開および拠点校部活動についてということで、まず、令和5年度から7年度（第1期）における取組概要について説明をさせていただきました。その後、令和8年度から令和10年度（第2期）の取組についての説明をさせていただきました。令和7年度までにほぼ拠点校部活動がスタートし、令和8年度はいよいよ休日の部活動地域展開へと進んでいくという流れになっております。

協議2では、今後の地域展開の進め方ということで、一般社団法人内子地域クラブの組織編成についての説明をさせていただきました。項目(1)から(12)に沿って、目的から指導者・保護者間の連絡方法まで説明をさせていただいております。その説明の中で、部活動アプリというものはどのようなものかということをご質問いただきました。平日と休日の指導者間での練習メニューの共有や会費の集金にも活用することができます。ということを説明させていただきました。土曜日はすべて外部指導者が主になって行うのかということについて、これは連絡関係になりますが、生徒、顧問、それからスクールバス関係の連絡について

は、休日部活動（地域クラブ）の場合も教員が入っている場合、教職員が連絡を行う。いない場合については、基本的に外部指導者が連絡いただきます。それらについてもアプリでどこまで対応できるか検証しながら進めていくということです。バスの見送りが終わるまで、そこまでが一応部活指導ということです。委員長の方から、基本的に休日部活動（地域クラブ）についても、軌道に乗るまで先生方にご協力いただきたいという話がありました。令和10年度末までに完全移行で、それまでにご協力いただくということは特に問題ないというふうに考えております。拠点校部活動を続けてきましたが、部活動に参加する教員、しない教員によって放課後の使い方に差があるということでした。それについて平日も報酬を与えられないかという意見も出ていましたが、それが可能なのかというところも含めて、具体的な方向性が今後の検討課題になろうかと思えます。まずは休日の地域展開をしっかり行い、平日の地域展開に進んでいこうというふうに思っております。続いて、協議3では年間計画の確認をしました。今回は2回目（7月）になります。この後、3回目を8月、4回目を9月に行う予定です。その後、5回、6回と行いますが、状況によって時期は変えていくという話になっております。

協議4では指導者について、事務局から募集の方法や指導者のレベル等について説明を行い、いろいろなご意見、ご質問等をいただきました。それについて、担当の方から回答させていただきます。

事務局

指導者に関してご質問があったことについてご回答させていただきます。まず1つ目、「外部指導者のみの地域クラブ活動は、生徒、顧問、スクールバスとの連絡は外部指導者が主に行うのか」ということについて、出欠確認など軽微なものは部活動アプリを通じて外部指導者が基本的には行います。それ以外については、地域クラブの事務局を通じて連絡を行う体制を整えたいと思います。2つ目、「指導者のレベル分け（0～3）」についてですが、指導者のレベルの階層については一旦白紙に戻します。まずは指導者を確保していく。どうしても不足する種目については、見守りなど協力できる方を配置していきたいと考えています。3つ目、「原則指導者2名としているが、それ以上に指導者が必要となる場合の報酬はどうするか。」ということについて、現時点で、軟式野球や卓球については、2名以上の体制になる可能性があります。その場合も、これまで指導者として協力いただいている方については、引き続き報酬のお支払いをさせていただきます。今後、外部指導者として新たにご協力いただく方については、その都度協議して決定します。次に「町外の指導者への交通費、大会参加にかかる指導者の交通費」についてです。指導者の報酬の中に交通費も含まれており、交通費を支給はしないと

いうことをご理解ください。次に、「教員の指導のローテーション」についてです。こちらについては複数名を指導者登録し、その中で柔軟にローテーションさせていただいたと思います。最後に「指導者の一般募集」について、こちらについては後ほどご説明いたします。

副委員長 ありがとうございました。内容について確認になります。ここでのご質問等は受けないようにしようと思いますが、構いませんか。

委 員 はい

副委員長 はい、それではそれらを踏まえた上で、今回の提案、検討事項に入っていきます。

◆協議 2 夏休み以降の部活動について

事 務 局 夏休み以降の部活動についてです。夏休み期間中は、平日は拠点校部活動として行います。休日は基本的に部活動を実施しません。ただし、休日に練習試合や大会等に参加する場合は、拠点校部活動なので、教職員に報酬は出ません。その分は部活動手当の方でご対応下さい。地域クラブの指導者については、報酬を支払います。9月からは休日地域クラブ活動が本格的に運用されます。休日の部活動のバスについて、現在と同じように運行します。

副委員長 今の提案について、ご質問ご意見はありませんか
これについては大体よろしいですかね。中学校側から皆さんにお知らせしておくことは特別ありませんか。では、夏休みについてはそういう形で実施します。

◆協議 3 地域クラブ活動について

事 務 局 改めて、部活動地域展開の今後のロードマップについてご説明します。6月に中学校の先生方に部活動地域展開についてご説明しまして、合わせて今後の指導者へのご協力をお願いしました。その説明会後に、改めて先生方に指導者の希望調査を実施しました。現在、部活動の保護者の方に向けた説明会を実施しておりまして、8月には地域クラブへの生徒、指導者の登録を完了し、9月から休日クラブ活動を開始する計画です。平日の部活動におきましては、7月21日、夏休みに入ってからになります。地域クラブからの指導者派遣を平日部活動に行っていきます。なお、10月の新人体育大会については、従来通り学校部活動として参加をする予定です。指導者事前希望調査について、現在、事前希望調査の実施を終えて、これから学校と協議を重ねて指導者の配置を行っていく予定です。事前希望調査を実施した結果、先生

および地域の指導者の方は右の欄の通りとなっており、赤字の部分については希望する種目を重複されている種目になります。引き続き指導を希望される先生や地域の方々には大変感謝申し上げます。ありがとうございます。これらの希望調査をもとに、先生方や地域の方にお声がけをさせていただき、指導者の登録をこれから進めていきたいと考えております。

これからの指導者の確保についてご説明させていただけたらと思います。第1段階として、現行体制の中での継続的な協力依頼をさせていただきます。地域移行はしますが、急な移行は生徒に混乱を与えてしまうおそれがあります。現行体制を維持しながら地域指導者につなげていくことを目指します。部活動の教育的価値の継承には、生徒と信頼関係のある先生方のお力添えなしでは、不可能だと考えております。先生方にも引き続きご協力をいただきながら、できることから地域につなげていくことが、内子町の地域展開だと考えております。事前希望調査をもとに、先生方にお声がけをさせていただきますが、指導者がどうしても足りない種目については、個別にご相談をさせていただきたいと考えております。また、地域の指導者については、今回出席されているの方々におかれましても、引き続き各スポーツ文化団体の中からご紹介いただける方がおられましたら、ぜひ事務局の方までお伝えいただけますようご協力をお願いいたします。第2段階として、現行体制が維持できない場合については、外部人材の活用と組織的連携ということで、愛媛県人材バンクを活用したり、企業団体から指導者を派遣していただいたりすることで指導者の確保を行いたいと思います。第3段階として、人材が不足する種目については、一般公募により広く人材を募集し指導者を確保したいと考えております。上記1から3の各段階におきましては、顧問の先生や外部指導者の方、また校長先生の意見を聞きながら、適正な指導者の確保に努めてまいりたいと思っております。

委員 先ほどの指導者の希望重複は、どんな見方をすればいいのですか。三つぐらい希望しているものとか、二つ希望しているものがダブっているということですか。

事務局 はい。例えば、バレーも剣道もできます。そういった二つを希望されている方が複数（2～4人程度）おられます。

委員 三つというのはなかったですね。二つでしたよね。

事務局 三つもおられます。

副委員長 赤い数字で示している中で、その指導者がいなくなる可能性があるものを教えてもらえると、皆さんの力も借りやすいのかなと思います。可能性として。

事務局 （指導者が）足りなくなる可能性がある種目ですね。総合スポーツが少し足

りなくなる可能性があります。

- 副委員長 ありがとうございます。という状況です。他のご質問はどうでしょうか。
- 委 員 教員で希望されている方で、内子在住だとか、外部の方も含めてのことだとか、その辺はどこの方がいるのはわかりますか。
- 事 務 局 内子町内の中学校（に勤務している）の先生方です。
- 副委員長 まずロードマップについていきましょうか。
- 今回、議事録にあったような内容について、事務局の方で整理してもらって、多少実施をずらしたり工夫してもらったりしていると思うのですが、ロードマップについてはよろしいですか
- 委 員 休日移行したとして、2名必要になるとは思いますが、今時点、例えば9月からやるとして、2名確保できる見込みはどうですか。
- 事 務 局 2名体制にするように動いてまいりますので、そこはしっかりと確保できる見込みです。
- 委 員 一応水面下ではなんとなく目星がついているようなイメージで、捉えていいですか。
- 事 務 局 この表に出てないような水面下の動きはございますので、それら含めて進めてまいりたいと思います。
- 副委員長 事務局が足で稼ぐと
- 委 員 数字だけ見て不安になったのでよかったです。
- 委 員 指導者がどうにもできなかつたら、その部活は停止になりますか。
- 事 務 局 どうにもできない場合は停止になりますが、そこは確実に、一人でもどなたを必ず（確保します）。
- 委 員 美術部がゼロですよ、ここの確保、今の状況も含めて（説明をお願いします。）
- 事 務 局 美術部につきましては、まず改めて先生方にご相談をさせていただきます。加えて、今、内子高校との連携を考えております。これはまだ、どういったことができるのか、これから進めていくところです。内子高校の先生、指導者、また生徒に混じって、中学校の先生や生徒をそこに混ぜていただくような形がいいのかなと思っていますところ。
- 委 員 美術部は土曜日、今活動してないというふうに聞いていますけれども、そのことの整合性はどのように考えるのか教えてください。
- 事 務 局 土曜日でも指導をしていただける体制を作って、その中で現在の美術部の生徒、保護者の方と相談しながら、土曜日の部活動を行うのか考えていこうと思います。体制は作ろうと思っています。
- 委 員 仮に土曜日に実施しないということを決定しても、月 800 円は徴収するという考え方でいいですか。

事務局 基本的に土曜日の指導者を確保して実施できる体制をとります。それでも希望しないのであれば、しない場合も同じように徴収をするべきだと考えます。

副委員長 その他はどうでしょう。

委員 外部の指導者を入れた時に、子供や保護者からその指導者が、不適切な指導者なんじゃないかという意見が出た時の対応は、どういうふうに考えられていますか。

事務局 そうならないように、指導者の方にはまず、研修を（ハラスメントとか）行います。何かあった時は、地域クラブの事務局の方にまず相談をいただいて、そこから教育委員会や学校と連携して、その指導者について対応させていただきます。まず、そうならないような研修をさせてもらいます。

委員 例えば、一人からクレームが入って、他の人はどうも思っていないとかの場合も、やっぱり教育委員会とかと話し合っということになるのですか。

事務局 内容次第にはなと思うのですが、まず、地域クラブで受けて、まあ個別に話ができるのであれば、話をさせていただいて、整合性をとりながら、指導者と保護者、またいろいろな機関と連携をしなければならいのかなと思います。

副委員長 指導者の確保と質の保証っていう問題はずっとこう議論されてきているので、一番難しいと思います。アドバイスとか、またこの場でいただけたら事務局もありがたいのではと思います。

委員 指導者の選定というか、水面下で動かれて、いろいろな方にお声がけとかされているかと思うのですが、この方がいいなっていう判断は誰がされていますか。

事務局 最終的に誰がいいとかという判断については、現在の指導者や校長先生など、学校部活動との連携もありますので、そこは先生方を中心に話をさせていただいて、判断をしたいなと考えています。

委員 子どもたちの意見っていうのは反映されないのですか。

事務局 全く知らない人とか来たときに全くわからないので、子どもたちもこの人がいいのか悪いのかっていうのは判断できないと思います。そういった意味では子どもたちはそこには携われないのかなと思います。

副委員長 そこは協議会や大人がしっかり確保する、保証するという、そこは内子町の、この会の大原則かなと思います。指導者のことについて、県の方とか、いろいろなところからアドバイスとか、その他の地域の現状とか、そんなことなんか言っただけのようなことがあったら構いませんか。

オブザーバー 大洲市の方で同じような協議会があります。その中で、認定地域クラブ活動の指導者を募集ということで、ビラやネットで大洲市が配信していく予定としています。募集応募資格として、18歳以上で高校生は除くという条件。それから次のいずれかを満たすものとして。教育委員会、市内中学校の校長先生、それから大洲市スポーツ協会または文化協会の推薦があること。学校において部活動の指導実績があること。公益財団法人日本スポーツ協会等が認定する指導者資格を有することなど、その中でコンプライアンスの条件をクリアしている人じゃないとやれないというような条件を出されています。指導する運動競技や文化芸術分野の指導経験、また指導の経験があるということで、登録の募集の内容に時給も記載されています。段階的にその有資格指導者で活動全般の運営や指導者の育成にも貢献できるもの（時給 1600 円）。指導経験 2 年以上で指導資格（取得）を視野に指導意欲があるもの（時給 1400 円）。指導経験が 3 年以上で指導に興味を持ち、積極的に関わる意欲があるもの（時給 1200 円）など、面接等も行いながら、その指導実績に合わせて、報酬のことも紹介しながら募集しています。最低限度、協会等が認定する指導資格がないとダメですというふうも明示されながら募集している点に、今後心配されるコンプライアンスあたりのことを引っ掛けながら募集されている点が非常に参考になります。

副委員長 ありがとうございます。

オブザーバー 県としても、認定地域クラブ指導者に対して研修動画等の作成や認定の地域クラブとして指導にあたる方に対する研修の体制を整えているところです。誰でもなるということになると不安があると思います。その認定に関しても、指導者の研修に関しても、市町が独自で研修をするっていうのも一つ可能性としてもありますが、そこが難しいところがあれば、県に相談をしてといった関わりもできるのかと思います。とりわけすぐその指導者が必要だという場合は、まずは指導のその資格があるなしとか、そういったところを確認していただいて、協議会あたりで面接というのが必要なのかなと感じました。

副委員長 ありがとうございます。

オブザーバー 指導者に関して、先ほど県の方から説明があった通りです。コンプライアンス、そういったところは大事な部分だと思います。少し角度の違う話をさせていただくと、一方、こんな人になってほしいけど、なかなかハードルになって関われないっていう方もいるかと思います。時給 1600 円であれば毎週土曜日（2 時間）でてきて月 4 回、約 1 万 2000 円の金額になります。週 1 回地域のために出てきて、1 万 2000 円になるということだ

と、ご家庭の理解も少しいただきたりとか、会社員の方なんかにも出てきてもらいやすいように、会社の方にも少しご理解いただきたりとか、そういうふうな取り組みをしていくことで、スポーツの経験のある方だとかが出やすくなるのではと思います。そこで資格だとか、そういったところは出てくるのですが、まあそういった部分があるかなと。もう一方は、指導者と同時に、多くの方がこの活動を見守るっていうことが必要かなというふうに思います。何か起こる時は必ず閉鎖的なところで起こるので、どういふうに組織をしていくかですが、例えば少し見に行くことだったらできるとか。ボール拾いならできるとか、そういった方を巻き込んで関わっていただくことで、いろんな役割が出てくると思うので、指導者の線引き、お金の払い方の線引きは多少議論が必要かと思います。（これが当番になると、またちょっと話は変わってくるので、それはよろしくない面もあると思います）そのあたりは保護者会なのか、そういったところとも巻き込みながら、一緒になって子どもたちの活動を支えていくようになるのではと思います。

委 員 指導者の報酬について、地域クラブで報酬が出ると、例えば県外に二泊で行った時の報酬というのは、どうなるのか。それと、そこで部活動から別途報酬みたいな感じで報酬を出すのはいいのか。

事 務 局 県外に行く場合、時給の換算については、生徒が集まって出発するところからスタート。その場合移動時間も含まれますけど、県外で活動して帰ってきて解散までが指導ということで、そこが時給の終わりということで計算させていただこうかと考えているところです。

委 員 指導者の宿泊代を、部活動会費の中から支払ったり、別途報酬を出したりというのは別に大丈夫ですか。

事 務 局 クラブの方から宿泊費を出すというのは想定していないので、そういった場合は、保護者会費の中で集めて、その中から出すといったことになると思います。

委 員 保護者なりが別途報酬を出すのは問題ないということですか。

事 務 局 保護者会費の中から出すのであれば問題ないと思います。

副委員長 大会参加はいろいろ難しい部分があるかと思います。指導に関わる報酬という大きい枠で、旅費とか宿泊費とか、そのあたりについては受益者負担になっていくのかなという気がしています。

委 員 9月はいいですけど、指導者が先生だけのクラブも多分あるかと思います。それは3月の人事異動とかは考慮してもらえますよね。4月になったら急に指導者がいないなんてことがあり得るのですか。

副委員長 それは保証できません。もちろん町外の学校に転勤もあると思います

し。逆に言うと、新たに長けた方が町内に来ていただくような可能性もあると思います。そこはなんともいえません。

委員
副委員長

急になくなるってということもあるのか。

考えられる。中学校現場の実情を言わせてもらうと、それがあつて部活動顧問は四苦八苦する。突然全く未経験の部活動を持つことになったり、同じ学校の中に同じ種目を指導できる人が何人も重なっていたり、そういうことはもう往々にして起こるので、そこはちょっと難しい。

その他どうでしょう。指導者のこと以外でも、一般的なことでも構いません。アンケートがあつて動き始めていますが、拠点校部活動がある学校の声として、伝えてもらうようなこととかありますか。

委員

指導者の確保に向けた具体的方策についてというところで、現行体制の中での継続的な協力依頼ってところが、ある程度必要な状況だなというのは実感しています。アンケートは正直な気持ちを出していただいている状況と捉えています。先生方はやっぱり子どもたちの活動を大事にしたいという思いもありますし、細かい状況を踏まえて関わりたいという方も多いと思います。こういった形だったら関われるとか、こういった協力ができるといふようなところ、本当に細かな具体的ところをちょっと詰めていながら、先生方のあの協力体制は築いていけたらというのが今の方向性かなと思っています。一方で、人事異動で、急に先生方がなくなるといふようなことが起こると、クラブの運営に成り立たなくなることもある。同時に地域の方がたくさん関わっていただく方がと感じていますので、あまり指導者として、資格とか経験とかも大事ですが、こういった研修を受けることで、そういった資格が得られるなど。これから育てて指導者として関わっていただけるような人材を確保していくという意味合いの取組も同時にしていかないと。力のある方を募集しようとしていたのが今までだと思いますが、それでは見つからなかった現実もあります。一緒に関わりながら、一緒にクラブを支えてくださる方をどんどん広げていく取組も合わせてしていきたいなとは思っているところです。企業の方の例が出ていましたが、こちらは、平日の夕方の活動を仕事の時間をちょっとシフトずらす感じで協力もできますよというように申し出ていただいて、そういった動きもあつたりします。そういった企業の方からもいろいろな動きを、ちょっと募集をかけるじゃないですけど、働きかけながらできるようなものも生み出せたらなというところがあります。

副委員長

ありがとうございます。

この会に参加させていただいて、委員長が学校先生をすぐに離しすぎたらいけないと言ってこられていたのを聞いていて、今回のアンケート

結果を紐解いてみて、考えが甘かったと感じる。報酬を確保して頼めば、ある程度やってくれると思っていましたが、かなり考え方が多様化していて、お金よりも自分の時間を大事にしたいとか、家族の時間を大事にしたいとか、そういう考え方もかなりたくさんあるというのを実感しています。その中でお願いできることをお願いしたりしながら、先ほど言っていたような協力体制を作っていく必要を実感しているところです。

その他、実行に向けてこんなことはどうなのだろうとかというようなことも含めて。

委員
事務局

指導者の募集から決定、研修までの大まかな要項はありますか。

現在そういうのはまだありません。一般公募についてはもう最終手段と思っています。そこも含めて作っていかなければいけないのかなと思います。

副委員長

現行体制の継続的協力体制でなんとか形にしたいということ。関わっていく人を増やしていくっていう形であれば、早々に作って一般公募に広げていかないと。正直、生徒の数は先細りなので、関わっていく人間はもうとっても少なくなっていくのが現状だとは思いますが。

もう少し情報を開示する必要があるのかなと思ったりもします。

副委員長
事務局

先ほどの大洲市のような広くという動きですかね。

現行体制を維持し、そこからスムーズな移行をしたいと考えておりますので、一般募集も考えていかないとはいけませんが、誰もいないからいきなり一般の人が入ることにならないようにはしないとはいけない。まずは基本となる体制を整えてから、いろんな人を入れられるようにしていきたいと思っています。

副委員長

取組を継続しながら、新しい風も入れていく、次の段階を考えるということでご理解いただけたらと思います。今日準備していただいている議題は、以上のようなのですが、こういう形で進めさせていただいてもよろしいですか。特にこの7月8月の動きになろうかと思っています。

まずは、今いただいたご意見等を参考にしながら、事務局の力を合わせてまたやっていきたいと思っています。今日の感想やそれぞれのお立場からまたアドバイス等いただけたらと思います。

オブザーバー

行政サイドから、立ち上げていただいて、内子のスタイルを築かれている点、非常にすばらしいなと思いました。組み立ても非常に早く、スムーズに拠点校から始められているので、バスの運営もしっかりされているし、ただどの地区も課題は一緒に、まず指導者の質の確保。これに関しては非常に悩ましいところで、現在教員にかわる専門的な指導者の確保が大変難しい。先ほど言われた通り、指導できるスタッフとか、(いろいろな

形でかかわるスタッフとか）そういった人を認定できるような仕組み。各地域でそれを受け入れながら、指導資格を援助していく。支援して、スタッフを確保して複数で指導にあたることで教員も安心して、それだったら私はやろうか（となる）。毎日はいけないけど、この日が行けるとか、スタッフ制にすると、今回休んでも他のスタッフがいるからというふうになります。認定クラブはそういった要件を満たすために、やはりスタッフで対話するという、これを重視しています。従来の部活動は 1 人あるいは 2 人だったので、非常に負担が大きかったですが、多くのスタッフで運営することによって、私もやってみようかという人が増えるのではないかと思います。

それから県の方の支援として、資格を取るのに援助しますよというシステムがあります。ぜひご活用いただいて、指導の中でやってみようかという人が増えてくれれば、さらに指導は充実すると思います。特に一般公募を今後やられる中で、条件はやっぱ明確にしておくこと。希望したいけど条件がわからないから、ちょっとやめておこうかという人も教員の中にも多いですし、一般の人はおそらくちょっと怖いなっていう方も多い。非常に行政主導で、地域間の連携と運営の一体化がこれからの課題になってきますので、それぞれの取組もやはり情報共有しながら、他市の良いところを入れながら検討されると、スムーズに行くのではないのでしょうか。

今後、地域に展開する中で、受益者負担とか、保険の問題と考える場合に、バスについてもやがて外れるような仕組みになるかもしれませんが、その辺も視野に入れながら、どういう取組をするかというのは、今後ね、やっぱ課題となると思いますので、また、フォローしていただいたらと思います。

副委員長

ありがとうございます。

オブザーバー

途中ご意見があった指導者が確保できなければ、その部活動はできないのかであるとか、あるいは先生が異動したらもうそこはなくなるのかといった現実。これは、まさにこれまで学校が抱えてきた部活動の形で、4月1日になるといきなり先生が変わった。素人の先生が来た。という状況は多くこれまでありました。一方で、それをこの地域展開という取り組みの中で、そういう状況はなくなっていく方向に向かっていくというのもまた一つ現実かと思います。移行期真ただ中にあるということで、指導者の数の確保と安全にという、この両輪ですが、この両立は非常に難しい。これを解決するのは、まさにクラブアドバイザーさんが言われた当事者を増やすことかなと思います。どこかに言えば、解決するということではない取り組みかなと。これをいろんなところを回っていて思うのは、この委

員、委員会だけ、あるいは事務局だけ、あるいは一般社団法人だけが何か頑張れば解決するのではなくて、この仲間をやっぱり増やしていくことが大事かなと思っております。

副委員長 ありがとうございます。

オブザーバー 指導者の数、それから受け皿の確保で移動手段の難しさとか、どの市町も抱えている中で、先行してやっていただいているからこそ、いろいろな課題なんか出てきたと思いますけれども、県としてその課題を共有させていただいて、少しでも何か支援ができないかなと思っております。こういう支援ができるとか、それこそ他市町ではこういう取組をしているとか、そういったところがまたお示しできたらなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

オブザーバー 昨日7月4日、愛媛広域スポーツセンターで市長意見交換会というのを開設させていただきまして、その中で、係長より内子町の現状を話していただきました。その会において、これまで一番行政の方に出席していただきまして、内子町の取組がどうなのか、現状どうだったのか知りたいという方が多く参加していただきました。今後とも愛媛保育スポーツセンターとして、できる限りの支援を行ってまいりますので、引き続きよろしくお願い致します。ありがとうございます。

クラブ理事 この度、一般社団法人の代表理事を務めさせていただくようになりました。今日の会議で、それから社団法人で理事会等を開いていく中で、やっぱり感じますのは、指導者についてということで、内子町は内子町のスタイルということで、今まできめ細やかな話し合いを重ねてきたのですけれども、いざアンケートを取った時に、先生の希望者が非常に少ないということがありました。具体的に始まった時に、どんな課題が起きて、どういう役割をする人間が必要なのかというのを、かなり想定をしていかなければいけません。例えば、学校施設を使うわけですから、土曜日に誰が最初に鍵を開けるのかとか、責任を持つのか。土曜日だから必ず誰か先生は来ているのですけれども、そういう先生が偶然開けるのを待っていていいのか。そういうふうなことを考えたときに、学校側の協力はやはり不可欠です。指導者について希望がなかった先生方の中にも、実は潜在的に本当は手伝っていいという方がいらっしゃると思います。今まで外部指導者として来られていた方の中でよく聞くのは、やっぱりその技能面ではどんどん指導するけれども、やっぱりその学校の管理であるとか、生徒への連絡とかについては、先生の方が滑らかにいくのではないかというお声をたくさんいただいております。今まで学校の教員がやっていた面をすべて新しい指導者がするかというと、やっぱりそこは無理ですので、アプリの活用も

そうですけれども、先生方一人一人に丁寧な聞き取りを今後も行つて、可能な協力、ここだったらできるというのを一人一人の家庭事情とか希望を聞きながら、理事側もできる限りの協力体制を整えていきたいと思っております。合わせて、今日はたくさんアドバイスいただきまして、ご意見いただいた中で、地域の方のその潜在的な力をどのように掘り起こすかというのは、やっぱり長期的な視点でもって考えていかないといけないと思います。先ほど事務局の方から、とりあえず現行体制の中の継続をということで、たちまち9月、しばらくはそうなりますけれども、そちらの確実な実施と合わせて、一般公募も含めた長期的な取組については、今後案等を作成いたしますので、どうぞまた皆さんのお力をお貸しください。どうぞご協力をよろしくお願いいたします。

副委員長 皆さん、ありがとうございました。それでは事務局の方にお返しします。

挨拶 副委員長

今日は長時間のご協議ありがとうございました。今年度委員にならせていただいて、町P連の会長なので、保護者としての立場で来させていただいています。私個人の意見ですけれども、学校部活動っていうのは子どもたちにとって人生を左右するぐらいの活動じゃないかなって考えています。私の長男、中学校時代、剣道をやっていました。高校でも剣道を続けて、今も22歳ですけれども、地域の会に入って活動しています。2番目は中学時代、吹奏楽部でしたけれども、高校でも吹奏楽を続けています。高校卒業したらもう就職する予定ですが、大人になっても楽器は続けたいというふうに言っています。中学時代部活動で本当に先生方、指導者の方に恵まれたなって思っています。指導者の方だったり、活動する環境だったりというのは本当に大事だなって考えています。この協議会で子どもたちの活動が充実するような方向に向いていったらいいなと思っておりますので、今後とも皆様ご協議の方よろしくお願いします。本日はお疲れ様でした。ありがとうございました。